



鹿児島県立甲南高等学校

進路指導室だより

平成29年度 第9号 (1月15日発行)

いよいよ2018年スタート!

三年生にとってはいよいよ勝負の時。**人事を尽くして天命を待つ**、と言うけれど、どこまでやれば人事を尽くしたことになるのかは、誰にもわかりません。3年間で自分が積み上げてきたものを信じて、焦らず、慌てず、最後の瞬間までじっくり頑張り続けましょう。

二年生にとっては、いよいよ**3年生ゼロ学期スタート**。受験に向けての本格的な取り組みの始まりです。ここできちんとスタートが切れるかどうか、受験の成否を決めると言われるので、年始の決意を改めてしっかり固め、具体的な計画を立てましょう。

一年生は、いよいよ学校の中心を支える屋台骨を引き継ぐ時です。これからの甲南高校を支えて作っていくのは君たちなので、**文武両道**で、学業をおろそかにすることなく、**甲南の伝統**をしっかり引き継いでいきましょう。

勝負をかけるということ

ところで、**大学受験**は、ある面で人生の行く先を決める大きな**勝負**です。同じ人の人生でも、どの進路を選択するかで、その後の人生が大きく変わる可能性がある上に、人生はたった一度きりで過去を変えることはできないので、その時その時を一所懸命努力して、一番いいと思える進路を、**自分の力でつかんでいく**しかありません。

しかしその一方で、それが**勝負である以上**、**思っていたような進路が実現できないことも、当然起こります**。困難な目標であればあるほど、その可能性は大きくなります。しかしそれを恐れていると、勝負の場に立つことはできません。それでは、どうすればよいのでしょうか？

何十年も生きてみると、人生の中で一年の遅れなんて、大した影響はないことがわかります。そして、**諦めないことと、思い続けることの大切さ**も。長い目で見れば、勝負に負けることは諦めることです。だから、大切な夢がある人は、浪人もいいと思います。確かに浪人はお金もかかるし、コダワリの学校に行かなくてもそれなりの資格や知識は得られる上、浪人しても目標に到達できる保証もないので、避ける人が多いです。しかし、**甲南生のポテンシャルは高く**、過去に浪人した生徒の成績を見ても、頑張る生徒は本当によく伸びます。また、同じ大学に入った人でも、浪人した人には一回りも二回りも成長した**人間の深み**を感じることが多いのです。そう考えると、一年の**雌伏を経て**でも自分の信じる夢をトコトン追い続け、**本懐を遂げる**のもいいのかもしれない。

その一方で、今の**日本の社会**は、いい大学を出れば将来が約束されるというような、古き良き時代の社会ではなくなりました。どこの大学を出ようが、その人の人生は、運と努力と出会いで決まってしまうところもあります。どこで学んだかだけでなく、どんな人たちと**出会い**、どんな**縁**が生まれ、どんな**経験**を積んで、どんな**成長**を遂げるのかということが、その人の人生に重要な意味を持つのです。たとえどのような進路を選択しても、そこに自分にとって**本当に大切な出会い**が待っていることもあります。

だから、**勝負することを恐れる必要はない**のです。人生はむしろ予定外のことのほうがはるかに多く、どんなに望んでも思い通りにならないことはたくさんあります。しかし、だからこそ本当に大切なのは、**目の前の壁に対して、人事を尽くして切り開いていく力**なのです。負けることを恐れず、**自分の夢に挑戦**していきましょう。健闘を祈ります。

【SGH通信】



SUPER GLOBAL HIGH SCHOOL

全国レベルでの課題研究発表の場です！

—第3回高校生国際シンポジウム開催—

平成30年1月31日(水)、2月1日(木) 於：サンエールかごしま

今年も(一般社団法人)Glocal Academy と甲南高校の共同主催による高校生国際シンポジウムが、本校近くにあるサンエールかごしまを会場に開催されます。これは高校生を対象とした、課題研究に関する全国規模の大会です。全国の高校生の課題研究の発表とその審査を中心に、大阪大学副学長小川哲生氏の基調講演や高校生の交流会、指導者向け研修会等が催されます。今年は県内10校、県外は北は北海道からの参加校も含めて12校の学校が出場します。(観覧希望は事前にHPからの申込が必要です)

このシンポジウムに甲南高校生は発表だけでなく、運営にも関わります。生徒にとっては発表の機会だけではなく、他校の生徒との交流や大会運営を知る貴重な機会になります。今年のシンポジウムも楽しみです。



【読書のすすめ】今月のこれを読め！

大攔源氏物語 小泉吉宏

平成30年がスタートして、早くも半月が経ちました。3年生はセンター試験も無事に終了し、いよいよ二次試験で志望校合格に向けてのリスタートができているのでしょうか？1・2年生は、それぞれ、1年後、2年後に迎えるセンター試験に向けて、気分を新たにしているところでしょうか？

さて、今月紹介する本は、「大攔源氏物語」です。古典文学の最高傑作とも言われ、センター試験にも何度か登場した「源氏物語」ですが、現代語訳版も、与謝野晶子や谷崎潤一郎、円地文子から田辺聖子まで多くの作品が世に出されています。しかし、今回紹介する「大攔…」は源氏の一帖一帖を、8コマ漫画にまとめた作品です。作者は「シッダカブッダ」シリーズの小泉吉宏さんです。源氏五四帖が、コンパクトにまとめてあって、源氏の入門書としては最適な一冊です。あなたも源氏の世界に足を踏み入れてみませんか？

○進路関係1、2月の予定

- ・1月15日(月)
センター試験自己採点
- ・1月20・21日(土・日)
1・2年進研模試
- ・1月23・24日(火・水)
1・2年実力考査
- ・2月4日(日)
1年ハイレベル模試
2年プロシードテスト

いよいよ学年の仕上げの学期です。自分が身につけるべきことを一つひとつ、しっかり身につけていきましょう。

